

## 堺区 区域まちづくり事業 効果検証シート

事業名称		実施主体			
こどもをハグくむ講座		堺保健センター			
事業目的	事業効果	活動指標	H30	H31	R2
近年、子どもの言葉の表出や発達において不安を持つ保護者が増えている。また、核家族化等により子育てを自然に学ぶ機会も減っている。これらの状況をふまえ、満1歳の子と保護者を対象とし、子どもの発達や関わり方について学ぶ講座等を実施することで、保護者が安心して子育ての見通しがもてるように支援する。	保護者が子どもの発達や関わり方を学び、子育ての見通しをもち子と関われる。保護者の関わりにより子の心身の発達を促すことにつなげる。	参加者数	前期 実数 40人 延数 124人 後期 実数 38人 延数 120人	前期 実数 44人 延数 132人 後期 実数 34人 延数 104人	実数26人 延数102人
		参加者アンケート	子どもとの関わりを意識し、家でも実践した100%	子どもとの関わりを意識し、家でも実践した100%	子どもとの関わりを意識し、家でも実践した92%
①妥当性	②協働の視点	③インパクト	④効率性		
○ 堺区内では、子どもの言葉の表出や発達において不安をもつ保護者が多く、また子どもとの関わり方がわからないという相談も多い。そのニーズから子どもの発達や関わり方について学ぶ講座は、保護者が安心して子育ての見通しがもてるようにする事業であり妥当性がある。	△ 講座には、堺区内の市民が参加している。企画段階においては区民のニーズに基づいて実施しているが、区民と共同して実施するまでには至っていない。事業の運営に関しては、多職種と協同し実施している。	△ 他区では実施していない事業である。	○ 今年度はコロナウィルスの影響で、地域で子どもが集まる場が縮小されており、参加ニーズが高かった。また、関わり方について学ぶ講座の実施は少ない。保健センターでは、訪問や乳幼児健診等で多くの保護者へ周知ができる。		
⑤自立発展性	総合評価				
△ 「講座の実践内容と乳幼児の発達について」の支援者向けの講座を実施し、啓発できた。今後は地域の子育て関連のボランティアやスタッフへ啓発を行い、地域へ広げていく予定がある。	○ 講座では、発達の見通しを伝え家庭でできる遊び方を実施することで、親が子どもの気持ちを代弁したり、共感することなどのポイントを意識して遊びきっかけとなり、子育ての見通しがもてるようになったと思われる。また作成したリーフレット「こどもをハグくむ遊び」を乳幼児健診等で活用し、講座に参加しない保護者へも啓発していくことができる。				
今後の方向性(課題、改善提案等)					
拡充 継続 見直し 廃止	今年度で3年目となり、区域まちづくり事業としては一旦終結となる。参加された保護者からは、「参加してからお片付けができ成長が実感できた。」「育てにくいと思っていたが、育児に自信を持ち、子どもの長所に目をむけるようになった。」などの感想があり高評価であった。今後は、乳幼児健診や訪問の場で、リーフレットを活用し、子どもの関わり方・遊び方のポイントを伝えていきたい。また、今後の母子事業についても、「こどもをハグくむ講座」の内容を取り入れて、実施していきたい。				